

2. 大分市工場夜景クルーズ実証事業について

1. 目的

臨海部の工場群は、製造品出荷額等が九州第1位（経済産業省2017年工業統計調査）となる等、九州・日本の工業をけん引する本市の強みの一つである。この強みを活用し、本市の産業観光の新たなコンテンツの造成、およびカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを進めグリーン・コンビナートへ変化していく工場群を新たな魅力として発信していくため、「工場夜景クルーズ」を定着させることを目的としたモニターツアーを実施する。なお、この工場夜景クルーズでは、将来的な民間事業者による自走等に向けた課題整理を行う。

2. 事業内容

(1) 工場夜景クルーズモニターツアーの実施

- 本市の臨海部の工場群の夜景を船上から見学するモニターツアーを委託により実施する。
- 「大分港西大分地区」および「乙津泊地」の2カ所を発着地とする下記のコースとする。

	発着地	コース
コース1 →	大分港 西大分地区	かんたん港園の夜景観賞後、日本製鉄のシーバース近くを通り、東へ順番に工場群を巡るルート。折り返し地点は鶴崎泊地付近とする。
コース2 →	乙津泊地	工場に挟まれた泊地の夜景観賞後、日本製鉄のシーバース近くを通り、東へ順番に工場群を巡るルート。折り返し地点は大野川河口付近とする。

- 10～12月の金～日曜日に16回(予定。テスト運航含む)実施する。(所要時間 1時間程度)
- 1クルーズ当たり定員8～10名とし、合計参加人数は160名程度を想定。
- 料金は一人当たり500円。参加希望者は株式会社JTBの専用サイト「たびと」から申込。一般の方向けの募集開始は11月上旬～中旬を予定。
- 満足度向上のため、工場の概要や見どころ等を説明できるガイドを1名配置する。

(2) アンケートの実施と分析

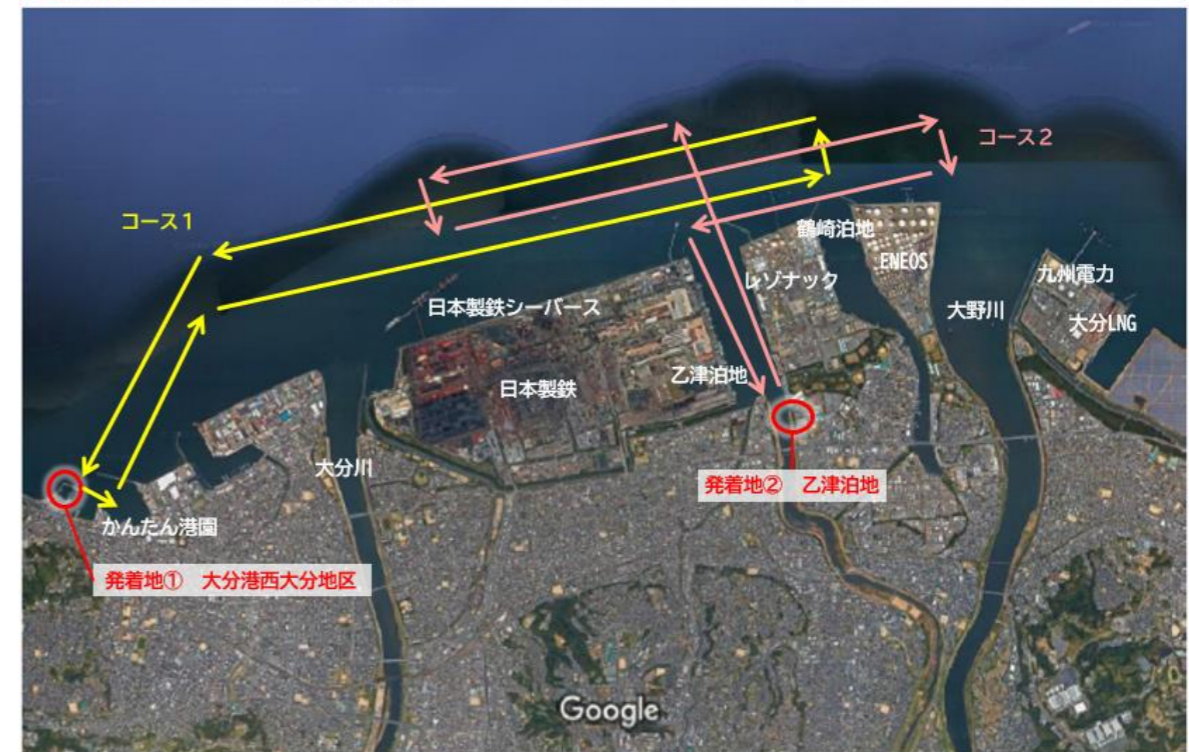
乗客を対象にアンケートを実施し、料金・コース・時間等について分析し課題整理を行う。

3. 今後の展開

- 来年4月からの福岡・大分デスティネーションキャンペーンの開催に合わせて工場夜景クルーズを実施し、より多くの方に新コンテンツの体験を提供する。
- 民間事業者による自走を促す材料とするため、アンケートによって得られた結果や課題等を公開する。
- 福岡・大分デスティネーションキャンペーン後については、今年度の結果等を踏まえ、事業の在り方を検討する。

【観光課 内線1636】

【コース図】



画像 ©2023 Airbus, CNES / Airbus, Landsat / Copernicus, Maxar Technologies, Planet.com, 地図データ ©2023 500 m